

図書館 だより

上野図書館 ☎ 21-6868 FAX 21-8999
 (平日 午前8時30分～午後5時)
 ※休館中ですが、電話はつながります。

司書のおすすめ

■ いがし電子図書館【一般】

『きのうの春で、君を待つ』

八目 迷 / 著 くっか / イラスト (小学館)



2年ぶりに島へ帰省した船見カナエは、その日の夕方、時間が遡行する現象に巻き込まれる。幼馴染の保科あかりの兄の死を知ったカナエは、その現象を利用して彼の命を救おうとする。だが、あかりの秘密が明らかになり…。(TRC MARCより)

■ いがし電子図書館【児童】

『みんなで描こう! 黒板アート』

すずき らな / 著 (誠文堂新光社)



教室の中心にある黒板に、チョークで色付けをして作品が生まれる「黒板アート」。その描き方やテクニックを紹介する。学校ですぐにでもまねをしたくなる、アイデアやサンプルが満載。(TRC MARCより)

3月の読み聞かせ

絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどをします。
 (30分～1時間程度)

とき	ところ	催物(読み手)
14日(出) 10:30～	大山田図書室	おはなしたいむ(きらきら)
17日(水) 10:30～	大山田図書室	あかちゃんたいむ・ミニおはなし会

おはなしボランティアきらきらによる読み聞かせ会は、4月から下記のとおり変更となります。

【とき】 毎月第2土曜日 午前10時30分～

【ところ】 大山田小学校 そうぞの広場 (平田25) 移動図書サービス「にんにんブッカー」も開設します。

図書館からのお知らせ

「伊賀市中央図書館」移転開館!

【とき】 4月1日(水) 午前9時～
 【ところ】 旧上野市庁舎 SAKAKURA BASE

新図書館オープン記念イベント

◆きょうは一日おはなし会♪ おはなしマラソン

市内で活動する読み聞かせボランティアグループがバトンをつなぎ、一日中さまざまなおはなし会をお届けします。

絵本や紙芝居、ストーリーテリングなど、時間帯ごとに内容が変わるので、いつ来ても楽しめます。新図書館で「おはなしの一日」を過ごしてみませんか。

【とき】 4月4日(出) 開催時間などは右上の二次元コードからご確認ください。

【ところ】 伊賀市中央図書館 おはなし室またはミーティングルーム (旧上野市庁舎 SAKAKURA BASE)

◆直木賞作家・万城目学さん講演会

「小説家という仕事～日常と非日常の交差点で～」をテーマに、伊賀市が題材の作品についてもお話しいたします。

当日、万城目さんの著書を購入した人は、講演会後のサイン会に参加できます。

【とき】 4月5日(日) 午後1時～2時30分
 【ところ】 伊賀市中央図書館 2階学習・集会室 (旧上野市庁舎 SAKAKURA BASE)

【定員】 60人
 【申込方法】 申込フォーム ※チラシは、各図書室へ設置

【申込期間】 3月9日(月) 午前9時～22日(日) 午後7時
 ※申込多数の場合は抽選。申込者全員に、3月25日(水)までに連絡します。



新たな専門ドックを始めました



健診センターでは、令和8年1月から、「MRI もの忘れ検診」と「無痛乳がん検診」を始めました。

MRI もの忘れ検診は、脳の萎縮を早期に発見し、認知症の進行を遅らせるための治療を始めるきっかけとなります。

無痛乳がん検診は、触診や乳房の圧迫がなく、X線被ばくもないため、痛みがなく負担が少ない安心な検査です。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

申・問 上野総合市民病院健診センター ☎ 24-1186

水道水質検査計画



水質検査を適正に行うために、検査項目・頻度などを定めた令和8年度水質検査計画を策定しました。

【閲覧場所】 市ホームページ・ゆめが丘浄水場
 問 水道施設課 ☎ 24-3980 FAX 24-0006

伊賀市文化振興審議会委員募集



文化芸術の振興と社会的課題の解決につなげていくため、伊賀市文化振興プランの進行管理や効果検証などの審議を行います。

【募集人数】 若干名
 【応募資格】 市内在住・在勤の満18歳以上で、市議会議員・市職員でない人

【開催回数】 年3回程度 ※原則、平日の昼間2時間程度
 【任期】 委嘱の日から2年間 ※委嘱日は、4月1日以降、初めて行う審議会の開催日

【報酬】 6,000円/日 ※市の規定に基づく。

【応募方法】 応募動機(800字以内、様式自由)・住所・氏名(ふりがな)・生年月日・電話番号を記入の上、下記まで

【選考方法】 作文審査 ※選考結果は全員に通知します。 ※提出書類は返却しません。
 【応募期限】 3月19日(日)必着

申・問 文化振興課 ☎ 22-9621 FAX 22-9619
 ☐ bunka@city.iga.lg.jp

4月2日は世界自閉症啓発デー



◆伊賀上野城ブルーライトアップ 「世界自閉症啓発デー」にあわせて、自閉症をはじめとする発達障がいについての啓発活動として伊賀上野城をブルーにライトアップします。

【とき】 4月2日(水)～4日(金) 午後6時～10時



◆自閉症とは

脳の発達に関係する障がいで、外見では分かりにくいのが特徴です。例えば、こだわりが強い、周囲に合わせるのが苦手、いつもと違うことに強い不安を抱くなど、その個性は一人ひとり違います。周囲が個性をよく理解し、その人に合ったやり方で、家庭・学校・職場での過ごし方を工夫することができれば、その人が持っている本来の力をしっかり発揮することができます。

問 障がいの福祉課 ☎ 22-9657 FAX 22-9662
 ☐ shougai@city.iga.lg.jp

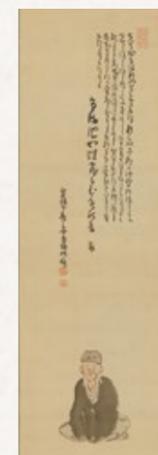
芭蕉翁記念館だより

3月20日は春分の日です。この時期には生き物たちが活発に動き始めます。なかでも、春の訪れを告げる鶯の初音は有名ですが、和歌の世界では、寂しげに鳴く蛙の声も並び称されてきました。芭蕉さんの代表句として知られる

古池や蛙飛こむ水のおと

は、蛙の句のなかで最も有名な作品です。芭蕉さんは、和歌で親しまれた「鳴くかわず」のイメージを「飛ぶかわず」へと変化させ、伝統を大切にしながら新しい「蛙」の魅力を引き出そうとしました。

芭蕉さんがこの句を披露したのは、43歳の春、深川の芭蕉庵で、弟子たちと「蛙」を題にして句会を行ったときのことでした。この句は芭蕉さんが生きている間はそれほど有名ではありませんでしたが、死後、弟子たちの活動によってしだいに有名になり、江戸時代後期には、代表句として肖像画とともに書かれるまでになりました。



露城筆「古池や」芭蕉翁句自画賛(伊賀市蔵) 義仲寺無名庵の十五世主人瀬川露城による近代の作品。「古池や」の句の前には、江戸時代後期に広まった芭蕉の教えが記されています。 ※「デジタルミュージアム 秘蔵の国 伊賀」にて公開中

◆令和7年度 芭蕉翁記念館企画展 「俳聖」になった芭蕉

1月9日(金)～3月8日(日)

◆芭蕉翁記念館 春の企画展 「古池のかわず」はどこへ行ったか?

3月14日(出)～6月7日(日)

芭蕉翁記念館ホームページ

問 ○文化振興課 ☎ 22-9621 FAX 22-9619
 ○芭蕉翁記念館 ☎ 21-2219